

# シネマズライフ

2011年11月4日発行 第3号

<http://p.booklog.jp/book/36003>

貴樹諒音(たかぎりおん)

## 映画の風景 日本の風景

### ★ 淡路ワールドパークONOKORO ノイシュヴァンシュタイン城 ★

死ぬまで空想の世界で生きていくという理想の映画があった。…こんな映画だ。昔、「不思議の国」で、奇妙な冒険をしたアリスは、再び「不思議の国」に迷い込んでしまう。そこは、偽りの世界を信じるのがままな赤の女王に支配された混沌とした世界だった。ノイシュヴァンシュタイン城は、バイエルン王のルートヴィヒ2世が下イッツに造った城である。世界で最も美しい城の一つと言われる。しかし、写真の城は本物のノイシュヴァンシュタイン城ではない。淡路ワールドパークにあるミニチュアの城つまりレプリカである。



淡路ワールドパークONOKORO ノイシュヴァンシュタイン城

死ぬまで空想の世界で生きていくという理想の映画があった。…こんな映画だ。昔、「不思議の国」で、奇妙な冒険をしたアリスは、再び「不思議の国」に迷い込んでしまう。そこは、偽りの世界を信じるのがままな赤の女王に支配された混沌とした世界だった。ノイシュヴァンシュタイン城は、バイエルン王のルートヴィヒ2世が下イッツに造った城である。世界で最も美しい城の一つと言われる。しかし、写真の城は本物のノイシュヴァンシュタイン城ではない。淡路ワールドパークにあるミニチュアの城つまりレプリカである。

『アリス・イン・ワンダーランド』2010年 アメリカ映画  
監督・ティム・バートン 主演・ミア・ワシコウスカ ジョニー・デップ ヘレナ・ボナム＝カーター アン・ハサウェイ

監督・ティム・バートンの独特の映像感覚が堪能できる映画です。

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！



### 『イルマーレ』

ザ・シネマ  
2006年 アメリカ  
監督:アレハンドロ・アグレスティ  
出演:キアヌ・リーヴス、サンドラ・ブロック  
11月05日(土) 12:30 11月08日(火) 14:00  
11月08日(火) 21:00

2006年…ケイトは病院に赴任する事になった為、気に入っていた湖の側に建つ家を引越す事になる。次の住人には、郵便の転送のお願いと家の玄関に残っている犬の足跡の事を手紙に書いてポストに残して去る。

その手紙を受け取ったのは、以前この家に住んでいたアレックス。空き家になっていた家を買って再び住む事にしたのだ。手紙に書いていた「犬の足跡」はこの家には存在せずアレックスはケイトに手紙を書く事に。しかし、その手紙の返事はアレックスにとって驚きの内容だった。

「なにか誤解があるようです、私はその家に住んでいました。現在はシカゴに住んでいます。ちなみに今は2006年です。」

実は、アレックスが手紙を受け取っているのは2004年。ケイトとアレックスは2年という時間を隔てて手紙のやり取りをしていたのだ…

時間を越えて愛し合うようになる二人の男女の素敵な愛の交流を描きます。

共演はキアヌ・リーヴスとサンドラ・ブロック『スピード』とはまた違った二人です。

### 『ツィゴイネルワイゼン』

日本映画専門チャンネル  
1980年 日本 監督:鈴木清順 脚本:田中陽造  
出演:原田芳雄 大楠道代 藤田敏八 大谷直子

11月11日(金) 07:00  
11月19日(土) 27:30→[11月20日(日) 03:30]  
11月25日(金) 27:00→[11月26日(土) 03:00]

気ままに海辺町を旅していたのドイツ語学者の青地は、友人の中砂と再会。そこで、二人は弟が死んで喪中だという芸者・小稲と親しくなる。

やがて、中砂から「結婚した」という便りがあり、家を訪ねてみると、中砂の妻・園は、芸者の小稲にそっくりだった。やがて、子供が生まれるが中砂は、園と子供を置いて放浪の旅に出て病に罹って帰宅。看病をした園はその病の為に亡くなり、やがて子供の世話に困った中砂は、子供の面倒を芸者の小稲にさせる。やがて、中砂も再び放浪先で薬の飲み過ぎで死んでしまう。

数年経ち…突然、小稲が訪ねてきて「以前貸していたサラサーテのツィゴイネルワイゼンを返してくれ」と死んだ中砂の伝言を告げる。しかし、青地には借りた覚えはなかった…

放浪の旅の末死ぬ中砂に原田芳雄。青地には映画監督の藤田敏八。

青地の妻をも巻き込み、死んだ中砂からの伝言で、じわじわと青地に迫る不思議な世界を鈴木清順監督の独特の映像美で体験させてくれます。

☆【最近のこれはお見事!】は、見事な映画の題名の紹介します反して、【最近のこれはまずいぞ!】は、これは、まずいぞ!と思う映画の題名を紹介します。

☆ ネットでも読める「ミ」誌です!主に映画の紹介とコラムです。よろしかったら、コメントで感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願います! 貴樹諒音

★ 貴樹諒音 ★ [cinemaz-life@movie.nifty.jp](mailto:cinemaz-life@movie.nifty.jp) ★ 告知ブログ ★ <http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/>

発行予定は第一・三金曜日

次回発行は11月18日です。

【最近のこれはまずいぞ!】『ラスト・エクソシズム』 絶対『エクソシズム』を気にしての題名やね。ホンマに最後なんやろな!

2011年日本 監督 三池崇史 原作 阿部隆史  
 主演 市川海老蔵 橋本 高木浩高  
**「一命」**

戦国時代も終わり、太平の世になった江戸時代。一人の男が井伊家の屋敷を訪れた。井伊家の玄関先を借りて切腹をした。との申し出だ。家の老の斎藤勘解由は今流行している「狂言切腹」と判断。その浪人に先日あった、若い浪人の「狂言切腹」の悲惨な顛末を語って聞かせる。ところが、浪人は臆する事なく「切腹」を主張し、ある事実を家老に告げる…。



「武士の一分」とは何か? 切腹を申し出る浪人に、何かと話題の市川海老蔵。悲劇の死を遂げる男に今が若手の成長株の瑛太。悲劇のヒロインに、満島ひかり。武士としての本分にこだわる侍に青木崇高と波岡一喜。監督は「仕事大好き」三池崇史。いずれも、今後の日本映画を担う人達で別の意味でトキメキしました。

武士としての一面しか見ずに引き起こした悲劇。そう…、「武士の一分」も「人の一分」があればこそなのだと思ふのだ。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema

コラム  
**他人の勝手 自分の勝手**

今、私の買い物するスーパーの自転車乗り場が工事中でいつも止まっている場所があつちに行つたりこちに行つたり少しめんどくさい。で、婦りの買い物物を事を考えるとスーパーの出口に近い場所にみんな止めたバイクののだが、行つたら必ず空いているワケでもない。

某日、スーパーに行つてみると荷物台に荷物を入れてヒモでくくろくしているおぼはんが一人。「おこニコ空くなつと待つていたところ。おぼはんがぶぶつと…」

「なかなかこ出えへんで、時間かかるし…、あち行つたらいいねん! あち…とあつちやる。しかし、顔は向うを向いている…」

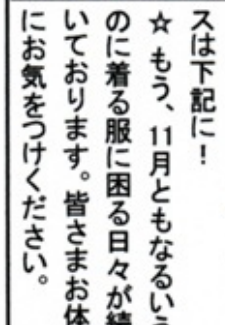
「ん独り言」つとよくよく聞いていると、また、同じ事をあつちやつてる。つまり、私にイヤミをおしやつてゐるのです。まあ、待たれてイヤなのもわかるが、私が同じ事があつた時、譲つてあげたけど

なあ。コココソツツツと「ぞに行く気配もないので、私もコココ向いて言つたらいいのに」とコココ笑いながら言い捨てて通りすぎました。遠くに行つたというのに、まだ睨んでいました。おぼはん。機嫌が悪かつたのかなあ。それとも、私の面の皮が厚いのかなあ。

さて、おぼはんにしてみれば待つてる私は鬱陶しい、しかし、こちらにしてみれば、「少しぐらい譲つてくれてもいいと思う。」

しかし、どちらにしても「おぼはん勝手な話。(待つより探せせだし、一方では少しぐらい譲れ!」だ。

まあ、おぼはん二人の揉め事なら大事にはならないが、これが二つの国の話だとすると簡単には終わらない。戦争つて案外「他人の勝手」から始まるのではなからうかと勝手なおぼはんは思つたりもしたのでした(笑)。



※編集後記※  
 ☆各地の地方局共同で制作している『戦国鍋TV』が、じわじわと人気が浸透してきている。副題は「なんとなく歴史が学べる映像」。

歴史好きの私としては、気がつくのが遅すぎたかな(笑)。タイトル通り戦国時代の出来事を、若手のイケメン俳優が、おちゃらけているところが実は結構マジメに映像化。マジメに映像化しているようで、実はおちゃらけているどころか番組とは違つたのである。歴史好きの方は、怒る人が喜ぶ人がどちらか偏ると思います。興味のおありの方はぜひ、ご覧くださいませ。アドレスは下記に!

☆もう、11月ともなるいうのに着る服に困る日々が続いております。皆さまお体にお気をつけください。

【最近のこれはお見事!】『エンディングノート』

人生の最後を迎え残された人達の為に作つたのが、エンディングノートだそうです。いい考えだと思ひます。

☆『戦国鍋TV』 <http://www.tvk-yokohama.com/sengokunabe-tv/index.html> 検索した方が早いかも~(´0´)A ☆

シネマズライフ-cinemaz-life-3号

<http://p.booklog.jp/book/36003>

著者：貴樹 諒音

著者紹介ブログ：<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/>

《ザ・シネマ》<http://www.thecinema.jp/>

《日本映画専門チャンネル》<http://www.nihon-eiga.com/>

《戦国鍋》<http://www.tvk-yokohama.com/sengokunabe-tv/index.html>

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

よろしくお願いします

**Yahoo!映画**

**rion\_takagiのMyムービー**

<http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A-->

※& 他にもいろいろやってます。(^^) ※&

『オススメ犬映画』

<http://www.pet-c.net/column/movie/index.php>

犬映画を紹介しています。

お世話になってます。

インターネットTV・[netchannel](http://netchannel.com) KYO

【写真素材-フォトライブラリー】

の画像を使わせてもらっています。

§§§

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸です。

[cinemaz-life@movie.nifty.jp](mailto:cinemaz-life@movie.nifty.jp)

§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/36003>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.